

高齢者支援と介護の質の向上推進会議 主な意見

○高齢者支援と質の向上推進会議(オレンジ会議)

①認知症の理解の増進と共生の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症を、今は関係ない事と思っている人達への予防や相談窓口、いざという時の財産管理について、啓発を強化(「他人事」としてではなく、「自分事」として取り組む)。 ・認知症と今は関係ないと思っている市民の人たちが理解することが大切。 ・認知症はマイナスのイメージがすごく強いので、認知症に対する理解(啓発)が大切。
②保健医療・介護サービス提供体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人を在宅介護するためには、医療と介護の連携推進が不可欠。
③認知症の人や介護者への相談・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・家族介護者の孤立感を解消するための集いの充実を。 ・相談先を知らない人が多いので、気軽に相談できる場所、地域で目につきやすい場所に窓口の設置を。 ・早期発見や区役所窓口以外の気軽に相談できる仕組みづくりを。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の理解や権利擁護など、北九州市ではどのようにして安心して生きていけるのかというような、計画の方向性をきちんと示してほしい。

○高齢者支援と質の向上推進会議(調整会議)

- ・ 認知症を「今は関係ない事」と思っている人達への啓発(ハウツー的なもの)。
- ・ 相談のしやすさ・医療との繋がり視点での窓口、意思決定支援(権利擁護・支援)の連携、民生委員や町内会等の地域の協力が必要。
- ・ 認知症の段階毎に分けた計画を。